



YANMAR

ジョンディア自走式フォーレージハーベスタ

JD-8000 Series

JD-8400(540PS) JD-8500(585PS) JD-8600(625PS)



JOHN DEERE



ヤンマーアグリ株式会社

〒702-8585 岡山県岡山市中区江並428
yanmar.com



このカタログの仕様は、改良などにより、予告なく変更することがあります。



この印刷物は
植物油インキを使用しています。

⚠ 安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 無理な運転は商品の寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
- 故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。
- 保証書はご購入の取扱い店で必ずお受け取りください。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ…

飼料作物の収穫に、 さらなる高精度・高能率作業で対応。

飼料作物の収穫に圧倒的なポテンシャルを発揮する高出力エンジンに加え、上質な作業空間を実現するキャビンや人間工学に基づいて設計されたコマンドアーム。さらに、収穫物の切断長を繊細に設定できるIVLOCトランスミッションなどパワーと繊細さを両立させ、常に最高のパフォーマンスを発揮できる設計を採用したフォーレイジハーベスタ8000シリーズをどうぞご体感ください。



Forage Harvesters

JD-8000 Series

※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

様々な収穫条件にマッチするよう設計。

1 フィードロール

細長い板状のノコギリ歯を特長とするフィードロールは、乾燥した牧草から粘りのあるアルファルファ・クローバーまであらゆる収穫状況に適応します。上側のフィードロールは取替えが可能で、下部のフィードロールには金属探知機のコイルと、石探知機のセンサーを収納するチューブを装備することで、大切な本機の保護はもちろん、収穫した作物も守ります。また上下のフィードロールを前モデルに比べ25%広くすることで、よりスムーズな作物の流れを実現し、作業能率アップに役立ちます。

IVLOC対応、効率よくめらかにカット。

3 デュラドラムカッターヘッド

56枚のセグメントナイフと頑丈なドラムにより、効率よく正確に作物をカット。丈の長い牧草や繊維質の作物、コーンなどの細断性にすぐれています。また前モデルに比べて、カッターヘッドの径を10%大きくしたことで慣性が働き、馬力ロスを少なくしています。ナイフ交換は3本のボルトを外し、新しいナイフを入れてボルトを締めるだけです。

※写真はコーン用ナイフ。実装備は牧草用ナイフになります。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

コーンをキレイに破碎、牧草収穫時の取外しもカンタン。

4 カーネルプロセッサ (K仕様)

カーネルプロセッサは、上部ロールが下部ロールより20%高速回転し、コーンをキレイに破碎します。

ほ場にある金属や石からフィードロールとカッターヘッドの損傷を防止。

2 高感度金属 & 石探知機 新機能

従来機に装備されていた金属探知機に加え、8000シリーズには石探知機も装備しています。金属探知機および石探知機が異物を探知すると、自動的に駆動を遮断し、後行程の機械損傷を防ぎます。

Cropflow

良質なサイレージづくりを徹底追及。
処理速度・精度の飛躍的な向上を実現しました。

刈取り・切断・排出まで、作物がよりスムーズに流れるような設計を採用しています。理想的な動力伝達を実現しており、フィードロール・カッターヘッド・カーネルプロセッサなど、各所で生じる負荷が極めて少なく、長時間に渡って高いパフォーマンスを発揮します。

Cutterhead

鋭い切れ味が持続するカッターヘッドを採用。
効率の良い刈取りを実現します。

ジョンディア社の技術力を集約させたカッターナイフを採用。
刈取る際に自動的にナイフが研がれることで、
常に鋭いナイフ状態を維持できるように設計されています。

豊富な実績を誇るカッターヘッドデザイン

カッターヘッド

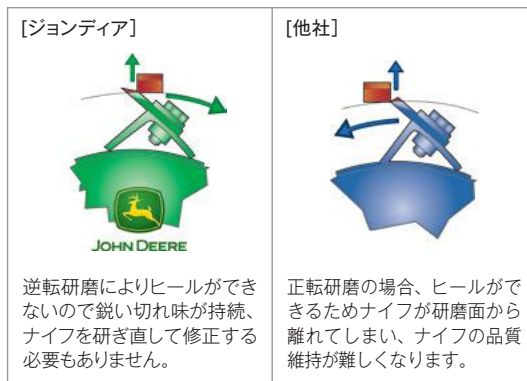
カッターヘッドの起源は、ジョンディア社が初めてマルチナイフデザインを採用した1970年代まで遡ります。現在、確かな技術を集約させたカッターヘッドは、ジョンディア工場から出荷された1000台以上のフォーレイジハーベスタに使用され、高効率のチョッピング動作を世界中の農家に提供しています。

耐久性にすぐれたナイフとシェアバー

ナイフ&シェアバー

ナイフは、長期に渡りシャープな状態を維持するため、炭化タングステンでエッジをコーティングしています。また新たなシェアバーシステムで調整の必要が一切なくなりました。

■逆転研磨で鋭い切れ味



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

Kernel Processor

**コーンの理想的な粉碎が可能。
栄養価を落とさない良質な飼料生成を実現します。**

カーネルプロセッサはコーンに切り込みをいれることで、
栄養価を落とさず飼料を生成できます。

理想的なコーンの粉碎を実現。

カーネルプロセッサ (K仕様)

カーネルは、異なる速度で反対方向に回転する2つのロールで構成されています。カーネルを通過する際に、2つのロールの隙間調整で、作物への圧力をコントロール。キャビン内のコマンドセンターでの簡単な隙間調整だけで、さらに高レベルの粉碎を可能にしました。最低限の圧力で穀物をしっかり粉碎することができるので、燃料消費も抑えることもできます。



切替えもカンタン。

カーネルプロセッサの切替え

牧草を収穫するときは、クランクレバーを使用して簡単に、収納位置と作業位置の間を上下できます。コーンの収穫時期の初めのころ、牧草収穫の終りかけの時期、あちこちに少しだけ残る牧草の収穫に戻らなければならない場合などに便利です。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

Engine

欧州排ガス規制StageVをクリア。 パワーテックプラスエンジンを搭載しました。

ヨーロッパの排ガス規制StageVをクリアした新型エンジンを搭載。
フォーレイジハーベスタの性能をフルに引き出す安定した高出力と、粘り強いパワーを発揮する高トルクが、フォーレイジハーベスタの性能をフルに引き出します。パワー、クリーン、エコノミーのすべてを追求した、新時代のエンジンです。

JD-8400	540PS / 1800rpm
JD-8500	585PS / 1800rpm
JD-8600	625PS / 1800rpm

可変容量ターボチャージャー VGT (Variable Geometry Turbocharger)

可変式のターボ羽根により、負荷によるエンジン回転が落ちそうになった時に吸気圧を高めて高トルクを確保し、粘り強さを発揮します。また完全燃焼に必要な酸素を十分に供給できるため、急激な負荷変動にも余裕で作業できます。

排気再循環システム EGR (Exhaust Gas Recirculation)

排気ガスの一部を再利用し、NOX (窒素酸化物) の排出を抑え、環境負荷を低減します。

フル電子制御4バルブ ユニットインジェクター式燃料噴射システム

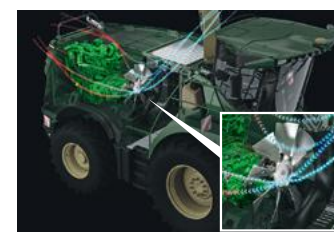
ECU (エンジンコントロールユニット) により、エンジン全体を電子制御。コントローラで回転数や負荷状態などを監視し、最適な噴射圧力・噴射時期を燃料システムに指示します。燃料をムダなく燃焼させ、さらなる排気のクリーン化も実現しました。

大容量1100Lの燃料タンク

1100Lの燃料タンクおよび、6気筒直噴エンジンのすぐれた燃料効率により、ほ場内での長時間にわたる作業がおこなえます。

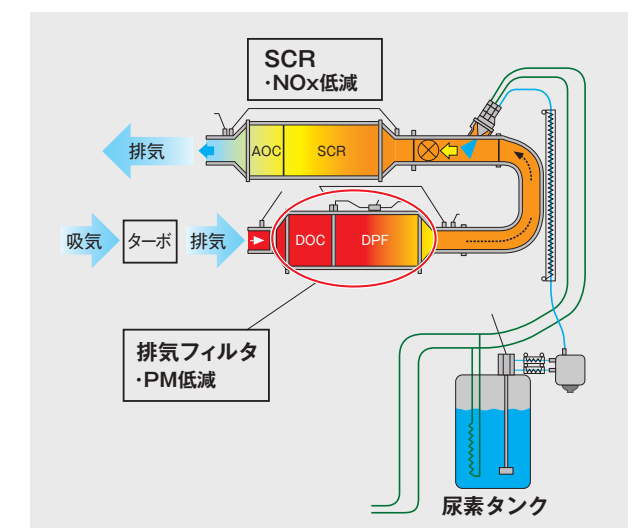
クーリングファン

クーリングファンは、恒久的にエンジンクランクシャフトからパワーバンドによって駆動するので、エンジン回転にマッチする設計です。



排気フィルタ (DPF+DOC) + SCR

排気ガス内のPM (粒子状物質) を排気フィルタで捕集します。捕集されたPMは最初にDOC (ディーゼル酸化触媒) とDPFによる温度上昇により分解されます。更にSCR (選択的触媒還元) により有害な窒素酸化物を中和させ排ガス基準をクリアしています。



ProDrive

一定の速度設定で傾斜地作業も安心、確実に。

車のクルーズコントロールのような定速走行の設定が可能のため、傾斜地を下る作業でも安心して作業が行えます。

また、プロドライブの多機能レバーを前に倒すだけで最高速までの走行が可能です。

さらに、4輪駆動とアンチスリップ制御により4輪全てをフル制御し、最高の走破性を実現します。

☐ 柔らかいほ場に優しい

旋回をする場合は、前後の車速を自動で調整しますので、ほ場を必要以上に痛めることもありません。

☐ 強力なけん引力

四輪駆動の内、ひとつのけん引力が弱くなると、その他のホイールの油圧をコントロールして全体的なけん引力を強化します。

☐ 確実なブレーキシテム

素早く停止したい場合も多機能レバーをニュートラルに倒すだけで、4つのディスクを持った2つのブレーキユニットが即座に可動。同時に駐車ブレーキも作動します。

☐ トレーラーの並走が容易に。

傾斜地を下る作業時にも一定の車速を維持できますので、並走するトレーラーも車速を合わせやすく正確な作業が行えます。



Cabin

進化をとげた上質な操作・居住スペース。
直感的な操作を実現し、長時間にわたる作業も
集中して行えます。

キャabinは作業全体を見わたせるワイドな視界を実現。
コマンドアームは、人間工学に基づいて設計されているため、繊細な操作も直感的に行えます。
さらに、制御ボタンやスイッチ類のレイアウトも視認性に優れ、
オペレーターの疲労軽減や安全・効率性を高めます。

作物を見わたせるワイドな視界、操作しやすく居住性にもすぐれた快適空間。

キャビン

フォーレイジハーベスタの理想的な操作空間を追求。大形のウインドーガラスは着色によりまぶしさを除去。ピックアップやコーンヘッダの全幅にわたって、刈取る作物を見渡すことができます。前方はもちろん横方向と後方の視界がすばらしく、足元の空間も広がりました。デラックスシートに座るとハンドルとコラムはチルトや伸縮ができ、乗り降りや操作がしやすくなっています。また、フレームとエンジンはキャビンから分離、ラバーマウント機構により静粛性がいちだんと向上しています。



制御ボタンやスイッチ類は、わかりやすい位置にレイアウト。

コマンドセンターとコマンドアーム

人間工学に基づいた設計で、操作機器類は身体の延長上に設定。ムリなく快適に操作でき、オペレータの疲労感を軽減し安全性と効率性を高めます。また、多機能レバーだけで作業中のほとんどの操作ができるように進化。ボタンの割当はコマンドセンターで可能です。



2種類の作業用カメラを標準装備し、作業効率がアップ。

バックカメラ、スバウトカメラ

バックカメラの装備により、バック時に後方の視界をコマンドセンターで確認可能に。更にスバウトカメラで作物の排出状況が確認でき、作業効率がアップします。



Headers & Pick-ups

収穫ユニットを組み合わせ、スピーディで効率の良いピックアップ・刈取作業を実現します。

厳しい条件下での耐久性・パフォーマンスに優れた、ピックアップ・コーンヘッダーをご用意。作業シーンに合わせて対応できるよう機種を多数取り揃えています。スピーディで高能率作業を実現できる収穫ユニットをご体感ください。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

牧草ピックアップ



639シリーズ(牧草)

作業幅 3m

フィードロールとオーガが速度同調するので、詰まりも少なく均一かつ高能率な作業が可能です。また凸凹した土地の状況下での性能を改善するために、新型の折りたたみ可能なゲージホイールを搭載しました。※ゲージホイールの操作は手動です。

特許を取得したジョンディア独自のオーガの形状により、作物の流れをスムーズにします。



ヘッダーオートマチックPTOカブラー

作業変更時のヘッダーの付け替えや、輸送時のヘッダーの取り外しなど、トラクターのクイックカブラーの様に作業機をすくい上げるだけで装着が可能に。作業時間が短縮され、作業効率がアップしました。



■John Deereピックアップ主要諸元

型式名	639
全長 (m)	1.35
全幅 (m)	4.06
牧草フィード幅 (m)	0.61
作業幅 (m)	3.00
全高 (m)	1.40
質量(重量) (kg)	1070
適応型式	8400, 8500, 8600



ロータリーヘッダー

Kemper ロータリーヘッダー 445型

刈幅 4.5m (6条刈り)*

*75cm条間の場合



Kemper ロータリーヘッダー 460型

刈幅 6m (8条刈り)*

*75cm条間の場合



スピーディに効率よく、自在に刈取作業。

ロータリーヘッダーは、タングステンカーバイド加工の鋭いナイフを採用。倒れている作物でも回転刃でスピーディに効率よく刈取れます。植付条間を気にすることなく刈取方向も自在。チェーンを使用していないため、メンテナンスの手間も省けます。あらゆる作業に対応できるよう機種も多彩。ヘッダーは4.5m (6条刈り)と6m (8条刈り)まで、2種類の中から選べます。1条あたり2枚の回転刃を装備しているため、効率よくキレイに刈取れます。

■Kemperロータリーヘッダー主要諸元

型式名	445	460
全長 (m)	2.20	2.80
全幅 (m)	4.60	6.10
作業時移動時 (m)	2.50	3.00
作業幅 (m)	4.50	6.00
作業条数 (条)	6	8
全高 (m)	1.20	1.50
折りたたみ時 (m)	—	2.30
質量(重量) (kg)	1795	2750
適応型式	8400, 8500, 8600	

Active Fill Control

アクティブフィルコントロールで、
収穫物のトラックへの積み込み作業など
一層の効率化が可能になります。

収穫ロスが軽減。

カメラでトレーラーへの積み込み状況を確認しながら自動でスパウトを制御し、ダンプに投入。均一に積み込みが可能で、作業ミスを監視することができます。また、作物の種類を問わず作業が可能です。

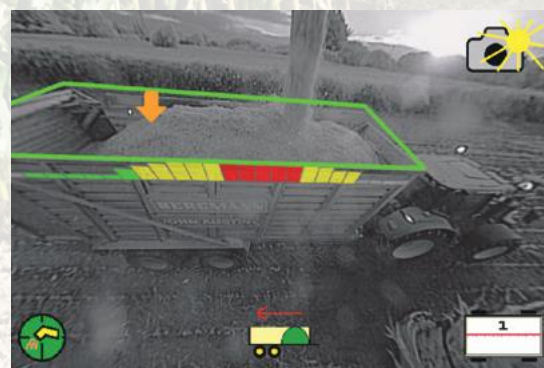
トレーラーの位置情報を素早く認識。

トレーラーの入れ替えや枕地での旋回などの後も、アクティブフィルコントロールなら素早くトレーラーの位置情報を認識できますので、不必要な停止など無駄な動作を省けます。

昼夜を問わず作業が可能。

光が少ない状況でもアクティブフィルコントロールは機能しますので夜間の作業にも柔軟に対応。大幅な作業効率のアップが図れます。

※自走式フォアレージハーベスタでけん引するテッピングワゴンでは使用できません。



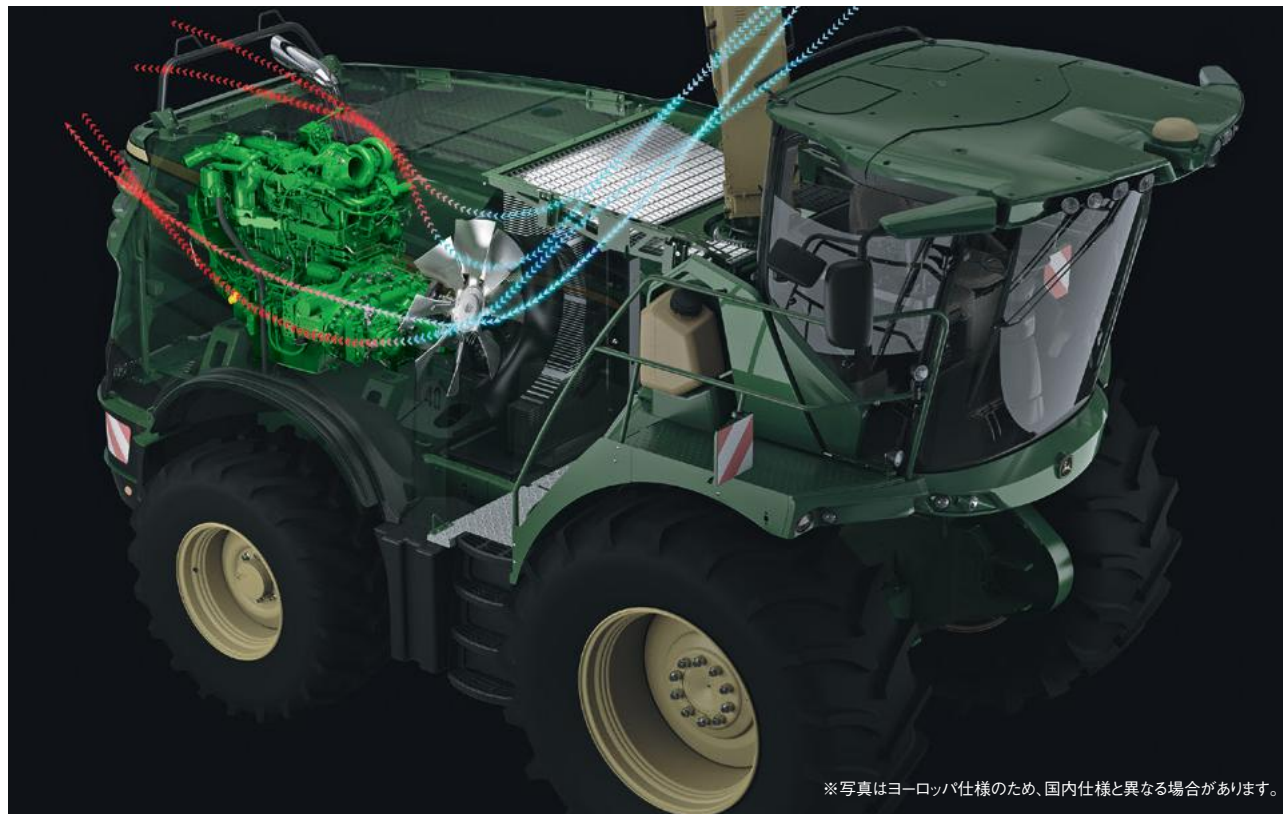
※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

Design

エンジン馬力ロスを最小限に抑えて、
カッティングなどの作業能率アップ。

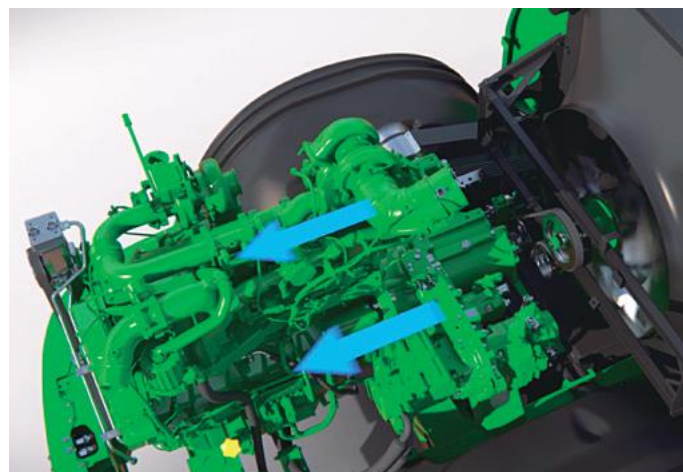
エンジン冷却

効率の良いエンジン冷却の為、最適なエンジンの配置を実現、冷却ファンの低速回転を可能にし、馬力ロスを低減。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

本機全体重量の低減



高品質かつ軽量の鋼材の使用で本機全体の重量の軽量化を実現。エンジンの搭載位置を後方にした事で本機バランスを最適化。作業時の後方バラストも極小化でき全体重量の低減を実現。



Maintenance

各部メンテナンスもカンタンにおこなえる。

日常的な点検や調整をラクにおこなえるよう徹底追及。
各部の開閉やナイフ交換なども容易にメンテナンス可能です。

運転席から研磨操作、逆転研磨で鋭い切れ味。

カッターヘッド研磨システム

必要に応じて運転席に座ったまま研磨作業が可能。IVLOCによりエンジン回転数とは関係なく研磨でき、低回転数で燃費を抑え騒音も低減します。さらに、カッターヘッドの逆回転で研磨するため砥石がナイフの下端から刃先に向かって引かれ、先が細くなるまで研磨。ナイフは長期間鋭利さを保持でき、交換の手間も減ってコストを節約できます。



後部パネルとサイドパネルが大きくオープンでき、エンジン各部のメンテナンスがラクにおこなえます。



サービスルームを広くし、各部のメンテナンスをやすくしました。



ヘッダーをつけたままV型に開閉が可能なのでナイフの調整や金属・石探知機のメンテナンスもラクにできます。



フィードロールハウジングは回転開放式、取外しが容易で便利で、メンテナンス性がいちだんと向上しました。

取外しもカンタン。

カーネルプロセッサの取外し(K仕様)

付属のクレーンを使って簡単に取外すことができます。



カッターヘッドのナイフ交換も簡単。ボルトをまわしてナイフを外し、新しいナイフをつけるだけです。



自動集中注油装置で手間いらず。あらゆる潤滑箇所に、常に新しいグリースが自動で潤滑されます。



コンプレッサーを装備しているのでエンジン周辺の塵埃の掃除が容易にできます。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

最高の状態でお使いいただくために・・・

部品供給ネットワーク

ヤンマーでは、必要な部品を5ヶ所の流通センターに常時在庫しています。お客様が必要なときに、必要なものを、販売網を通じてお届けします。

- 地域に密着し、お客様の手元へ迅速に部品をお届けします。
- より早く、正確にお届けするために、システムネットワークによる情報の一元化を図っています。



■主要諸元

名称		ジョンディア自走式フォーレージハーベスタ					
販売型式名		JD-8400		JD-8500		JD-8600	
区分・仕様		22	K22	22	K22	22	K22
機体寸法 (ヘッダー無し)	全長 (mm)	6520		6600		6600	
	全幅 (mm)	3200		3200		3290	
	全高 (mm)	3890		3890		3890	
	最大全高 (mm)	6600		6600		6600	
エンジン	製造元	ジョンディア					
	型式名	6135HZ022					
	総排気量 (L)	13.5					
	シリンダー数	6気筒					
	最高出力 (kW{PS}/rpm)	397{540}/1800		430{585}/1800		460{625}/1800	
	使用燃料	ディーゼル軽油					
	燃料タンク容量 (L)	1100					
	SCRタンク容量 (L)	43					
走行部	タイヤ	前輪	800/70 R38				
		後輪	620/75 R30				
	ブレーキ方式		電気式油圧駆動湿式ディスク				
	トランスミッション		プロドライブ2速トランスミッション				
最高走行速度	ほ場モード (km/h)	20					
	道路走行モード (km/h)	30					
フィードロール	フィードロール数	4					
	幅 (mm)	660					
カッターヘッド	ナイフドラム幅 (mm)	680					
	ナイフドラム直径 (mm)	670					
	ナイフ数 (枚)	56					
	切断長 (mm)	4-17(1mm刻み)					
	回転数 (rpm)	1200					
	研磨方式	逆転研磨(キャビン内操作可能)					
カーネルプロセッサ	ロール径 (mm)	—	240	—	240	—	240
	ロール回転数(上) (rpm)	—	3248	—	3248	—	3248
	ロール回転数(下) (rpm)	—	2612	—	2612	—	2612
	重量 (kg)	—	320	—	320	—	360
スパウト	旋回角 (度)	210					
	リーチ (mm)	4830					
ブロフ	ローター径 (mm)	560					
	経路幅 (mm)	540				620	
	ブレード数 (枚)	10					
	回転数 (rpm)	1800					

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。 ※この主要諸元は、ジョンディア社の情報に基づくものであり、実測値と異なる場合があります。

■主要装備

販売型式名	JD-8400		JD-8500		JD-8600	
区分・仕様	22	K22	22	K22	22	K22
金属探知器、石探知機	○	○	○	○	○	○
IVLOCフィードロール速度無段変速	○	○	○	○	○	○
シェアバー、リバーシブル	○	○	○	○	○	○
シェアバー、自動調整	○	○	○	○	○	○
スパウト 油圧上下操作	○	○	○	○	○	○
自動注油	○	○	○	○	○	○
カーネルプロセッサ		○		○		○
アクティブフィルコントロール	○	○	○	○	○	○